

「三気」をめざして

ぼくたち深川小学校には、3つの校訓「本気」「根気」「元気」があります。

「本気」とは、一人一人が勉強や運動を力いっぱい一生懸命取り組むことです。「根気」とは、何事にもとちゅうであきらめず最後までがんばることです。「元気」とは、みんなで力を合わせて毎日楽しく明るく生活することです。

ぼくは、今、6年生。深川小学校の最上級生として、決心したことがあります。

1つ目は、行事に真げんに



すぎたに たつや
楢谷 達也さん
(深川小学校6年)



縦で割り班遊びの様子

取り組むことです。運動会やさじき集会などに全力でむかひ、本気でがんばっていききたいです。

2つ目は、いやなことや苦手なことがあってもねばり強くやりぬくことです。ぼくは、スポーツ少年団のサッカー部に所属しています。試合で負けそうになったときでも、最後まで根気強くプレーしたいです。

3つ目は、地域の人や先生、友達に元気よく明るくあいさつをしたいです。

3つの「気」をめざして、下級生のお手本になれるようがんばります。

連絡帳

三中の愉快的仲間たち



まつもと ゆういち
松本 悠一さん
(三陽中学校3年)

僕は三陽中の生徒会長、松本悠一です。でもまだまだ胸を張って生徒会長とは言えません。生徒会長になってまだまだあたりたつていなくて、自信がありません。自分が生徒会長になるとは思いもしませんでした。本当に生徒会長が僕でいいのかと思うこともあります。仕事をして失敗したり、つまずいたりします。

そんな時、生徒会のみんなが救いの手を差し延べてくれます。

生徒会のメンバーはみんな頼もしいです。その場を明るくして和やかな雰囲気にしてくれたり、活発に意見を出してみんなをまとめてくれたり、僕も負けてはいられません。それほどみんな頼りになります。そして三中の生徒会の自慢はチームワークです。普段はまとまりがなさそうに見えるけれど、大事な時にみんな一致団結してどんな困難でも立ち向かっていきます。こんな三中の生徒会が僕はいと思います。これから三中の愉快的仲間たちと学校のためにがんばっていききたいです。みなさんこれから三中の進化する姿を期待してください。



生徒会メンバー



今年で結成 10 周年 思い出に残る公演に

劇団「未来」

ちょっと 小耳に

日置地区の児童・生徒で構成する劇団「未来」がこのたび結成10周年を迎え、その記念公演が、6月21日、日置農村環境改善センター多目的ホールで行われました。

劇団「未来」は、平成11年12月に、演劇を通じて21世紀を担う子どもたちに夢を持って、いきいきと過ごして欲しいという願いと、子どもたちの心のメッセージをできるだけ多くの人たちに受け止めて欲しいという思いから設立されました。

萩市に拠点を置く劇団「さくら組」の中村浩司さんの指導のもと、現在は日置中学校の生徒4人、日置小学校の児童5人で活動中です。

上演された作品は「ティファニー」というある町のおいしいパン屋さんを舞台にした物語。本番に向け半年前から練習を重ねてきました。

本番を前にメンバーたちは、「10周年なので、みんなの心に残るステキな公演にしたいです」と抱負を話してくれました。

本番では、大勢の観客の見守る中、子どもたちは堂々と演技を披露。舞台が終わると会場からは盛大な拍手が沸き起り、記念公演は大成功に終わりました。



記念公演のようす

心のケアも大切に

にしじま けいこ
西島 恵子さん(通中学校養護教諭)

※仕事は 養護教諭として通中学校に勤務し、保健室で生徒たちの心や体のケアを行っています。生徒の話はしっかりと聞いて、体の調子はもちろん、小さな心の変化にまで気づいてあげられるようにいつも心がけています。

※趣味は 旅行です。いつか、北欧までオーロラを見に行ってみたいですね。国内の温泉めぐりなんかも好きですよ。



※好きなタイプは 妻夫木聡 みたいな、さわやかな人です

※自由に一言 勉強や部活も大事だけど、心と体が健康でいられる事が何より大切です。みんな元気に学校生活をおくってくださいね